

本校が目指す5年後の姿（具体的な目標）

1 学校の現状や課題

本校生は素直で根気強い生徒が多く、卒業までの成長の伸びは大きい。普通科は毎年国立大学への合格者を出し、また、就職内定率がほぼ100%である。総合ビジネス科は横手地区における唯一の商業専門学科であり、多様な商業の資格取得が可能で就職内定率はほぼ100%、大学などへの進学者も多い。

生徒に高い学力、健全な職業観・社会性などを身につけさせ、より積極的に地域社会に貢献していこうとする生徒を育成していきたい。また、部活動では、相撲部、男子バスケットボール部、吹奏楽部、美術同好会などが上位大会で健闘している。指導者の力量を高め、さらなる活性化を図るとともに、中学校との連携を強化していきたい。

2 学校を取り巻く将来の状況の予測

今後も横手地区の中学校卒業生の減少が続くことが見込まれる。本校の特色の確立と地域の信頼や期待を得て、社会と繋がる生徒の育成を目指すことで本校の存在価値はより高まる。

3 目指す方向性や学校像

授業改善・家庭学習・ソーシャルスキルトレーニング・キャリア教育をさらに充実させ、学力向上だけでなく、人間関係のスキルや健全な職業観・勤労観を身につけた社会と繋がる生徒の育成に努め、地域社会や企業から必要とされる学校を目指す。

4 5年間で達成を目指す具体的な目標

- (1) 生徒同士のグループ学習や話し合いなどを重視した授業を実践し、生徒の学力（思考力・判断力・表現力）向上に努める。
- (2) ソーシャルスキルトレーニングなどの実施により、生徒のコミュニケーション能力を高めることで生きる力を育成し、社会との繋がりを深める。
- (3) 3年間を見通したキャリア教育全体計画に基づき、各種模擬試験、検定試験、講演会、体験的学習などを計画的に実施し、生徒の人的成長と進路実現の支援に努め、就職内定率100%を達成する。
- (4) 資格取得に更に努め、生徒のキャリア形成に繋がる日商簿記検定2級やITパスポートなど高いレベルの検定試験合格率50%を目指す。
- (5) 総合ビジネス科の特徴である地域連携学習を通して、地域社会の理解をさらに高め、校内外への情報発信に努める。

具体的な取り組み等

4－(1)

- ①生徒同士の発言が活発に行われるように、グループ学習の際、生徒の実態に合わせた組み合わせに配慮する。
- ②生徒によく考えさせる発問を工夫し、生徒の発言を促す。
- ③考查問題を工夫し、生徒の思考力・判断力・表現力の醸成に努める。

4－(2)

- ①スクールカウンセラー・外部講師の協力を得て、構成的グループエンカウンター・ソーシャルスキルトレーニングを取り入れ、生徒のコミュニケーション能力の向上を図る。
- ②地元企業やロータリークラブの協力を得て、面接指導や講演会を実施し、生徒の社会性の醸成を図る。

4－(3)

- ①LHRやCF（Creative Future：総合的な学習の時間）を核として、キャリア教育全体計画を踏まえて、各学年の特色を生かしたキャリア教育を実践する。
- ②生徒の進路希望に合わせた、きめ細かい指導を行い、生徒の進路実現を達成する。

4－(4)

- ①授業における基礎・基本の知識・技術の定着を踏まえ、放課後補習や添削指導を通じて応用力の醸成を図り、難度の高い資格取得を目指す。
- ②教員も専門性を高めるために、研修会への参加及び資格取得等の研修に積極的に取り組む。

4－(5)

- ①生徒が身につけた知識・技術を社会に還元するため、生徒が講師となり、地域住民を対象とした講習会を実施する。
- ②地域のイベントに積極的に参加し、学習した内容を総合的に実践する機会を設ける。